

第 1 章

男女平等について

1. 社会全体における男女平等

問1 あなたは、次の分野において男女は平等になっていると思いますか。（○は1つずつ）

▶社会生活の多くの場面で男性が優遇

社会生活における「家庭生活」、「職場」、「学校教育」、「地域活動」、「法律や制度上」、「政治や行政の政策決定の場」、「社会通念、慣習・しきたり」、「社会全体」の8場面において、男女は平等になっていると思うか質問をしたところ、「男性の方が非常に優遇」と「どちらかと言えば男性の方が優遇」と答えた人の割合は「社会通念、慣習・しきたり」が72.8%と、7割を超えて最も高くなっている。次いで「社会全体」が68.0%、「政治や行政の政策決定の場」が65.5%となり6割後半を超えている。

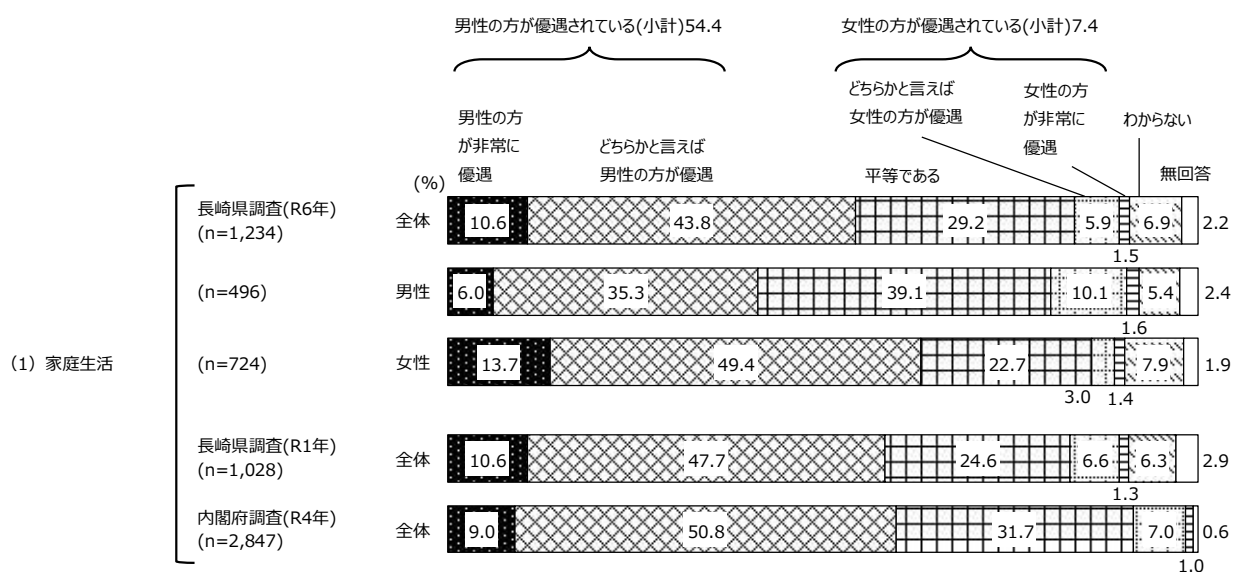
一方で、「平等である」と回答した割合は「学校教育」が57.9%と最も高く、5割後半となっている。次いで「地域活動」が37.2%、「法律や制度上」が34.0%である。

長崎県調査（R1年）と比較すると、「学校教育」を除く場面で男性が優遇されていると感じている割合はやや減少傾向にあり、「平等である」と回答する人の割合がやや増加している。特に「職場」において「平等である」と回答した人は、長崎県調査（R1年）と比較して6.6ポイント増加しており、もっとも変動が大きい。

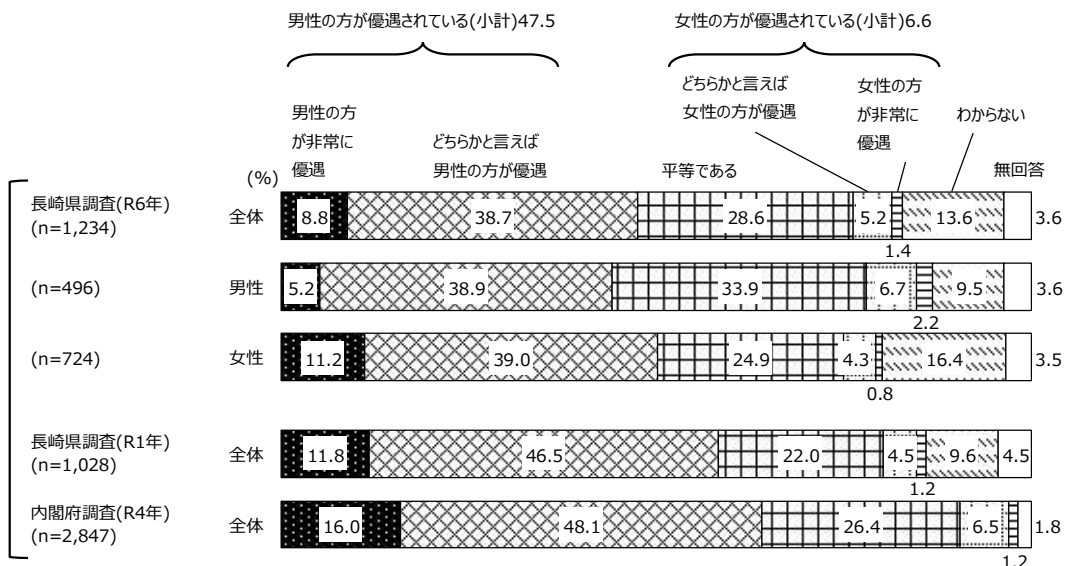
また、内閣府調査（R4年）と比較すると、「職場」、「政治や行政の政策決定の場」、「社会全体」における「平等である」と回答した人の割合が全国の割合を上回っている一方で、その他の場面では「平等である」と回答した人の割合は全国を下回っている。

男女別にみると、すべての場面において「平等である」と回答した人の割合は男性が女性より高い。また、男性の方が優遇されていると感じている人の割合は、男性より女性が高く、女性の方が優遇されていると感じている人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

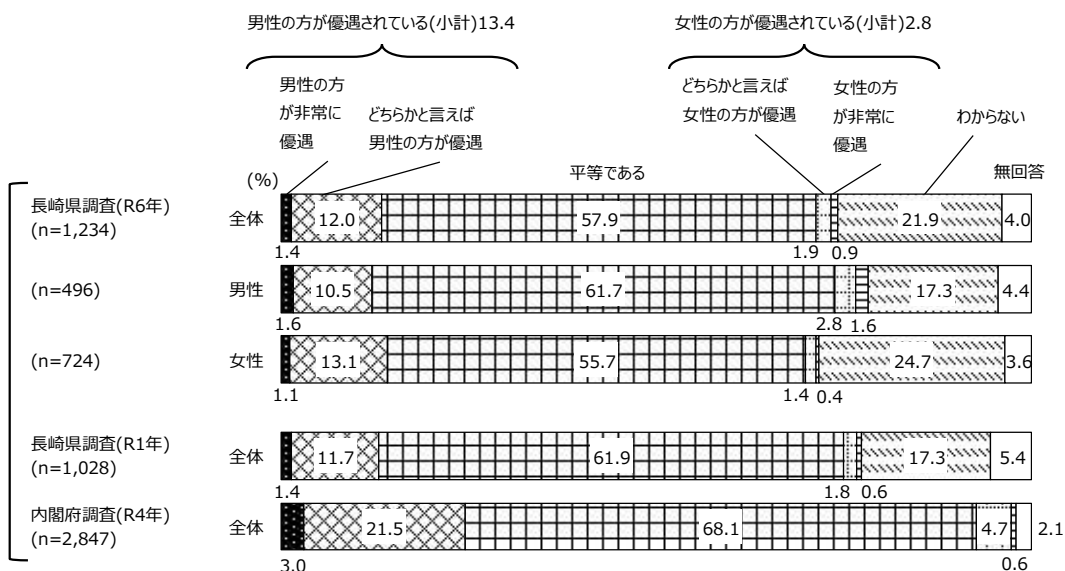
図1-1 各分野の男女の地位の平等感



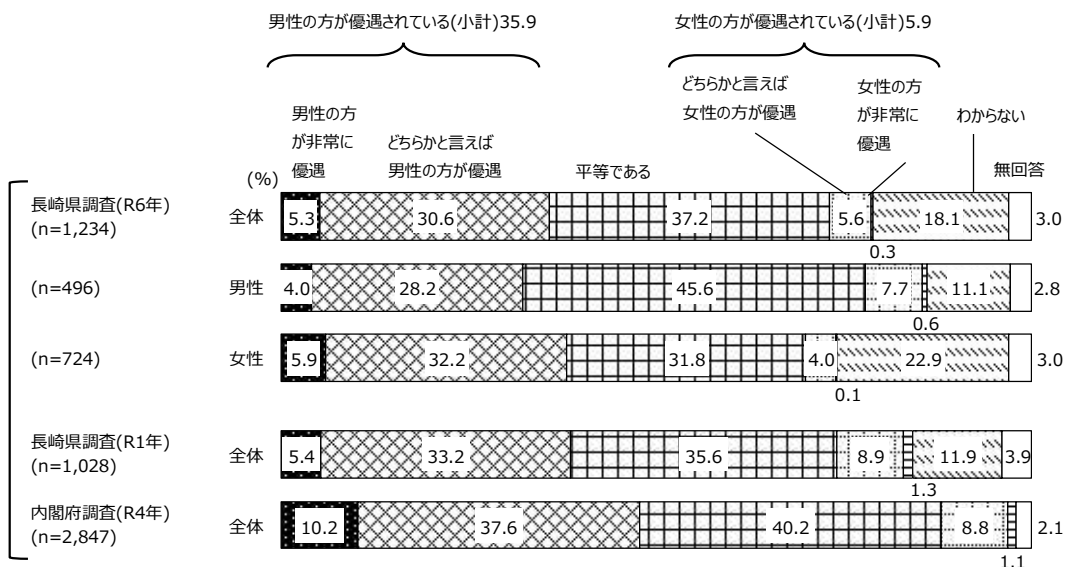
(2) 職場



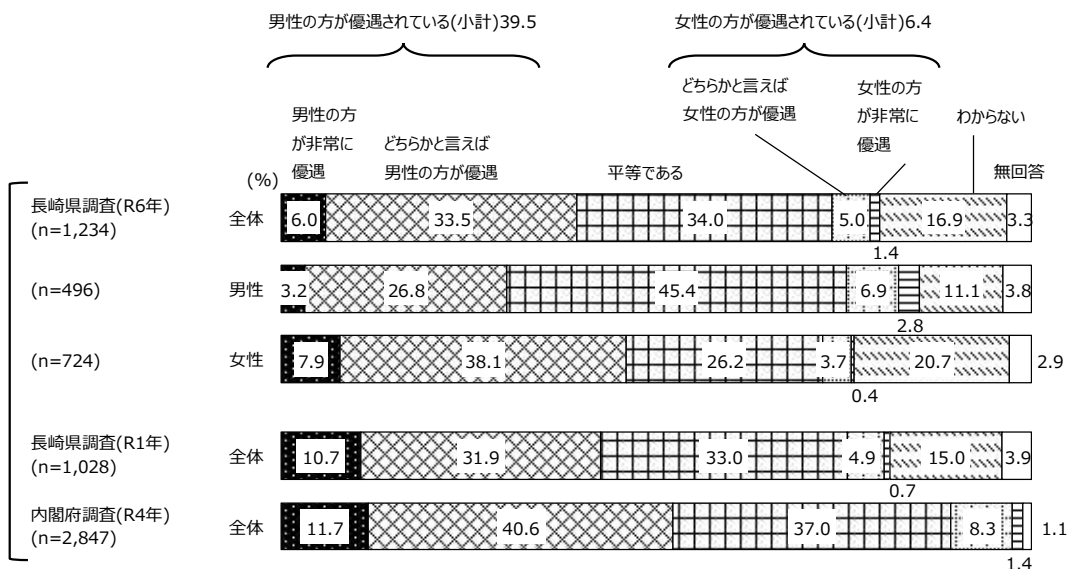
(3) 学校教育



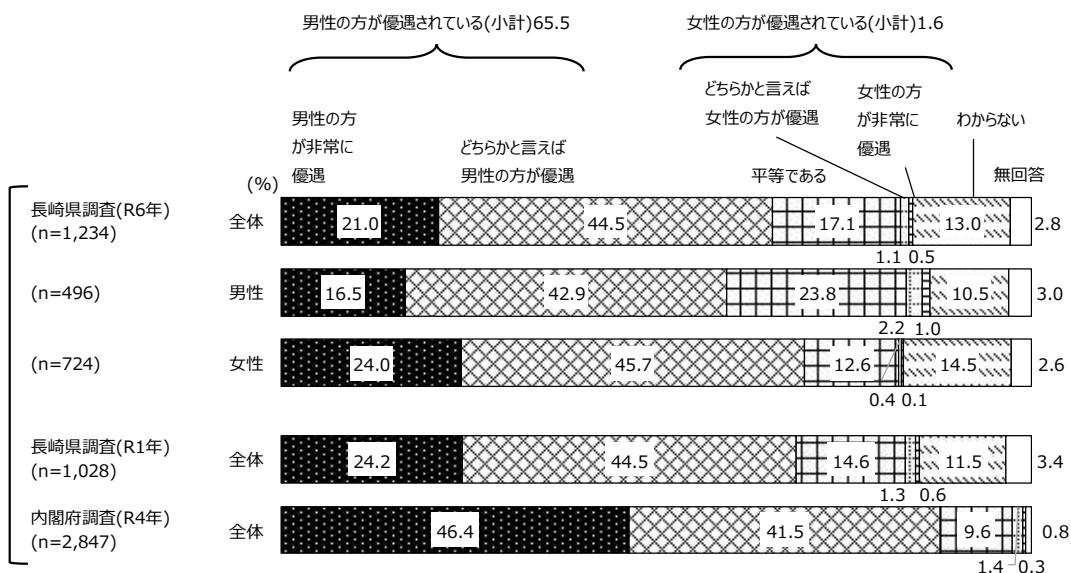
(4) 地域活動



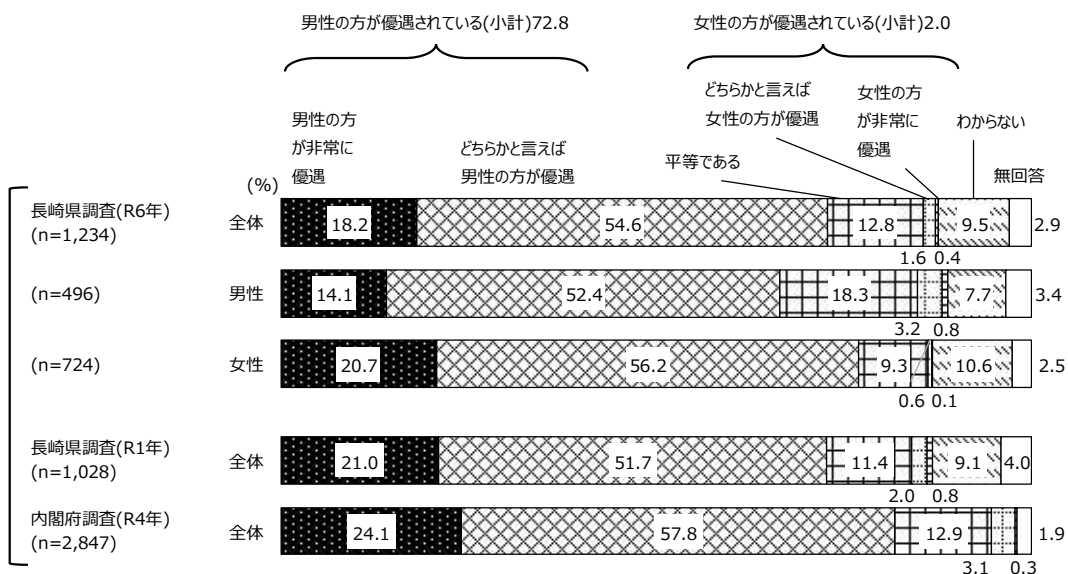
(5) 法律や制度上



(6) 政治や行政の政策決定の場



(7) 社会通念、慣習・しきたり



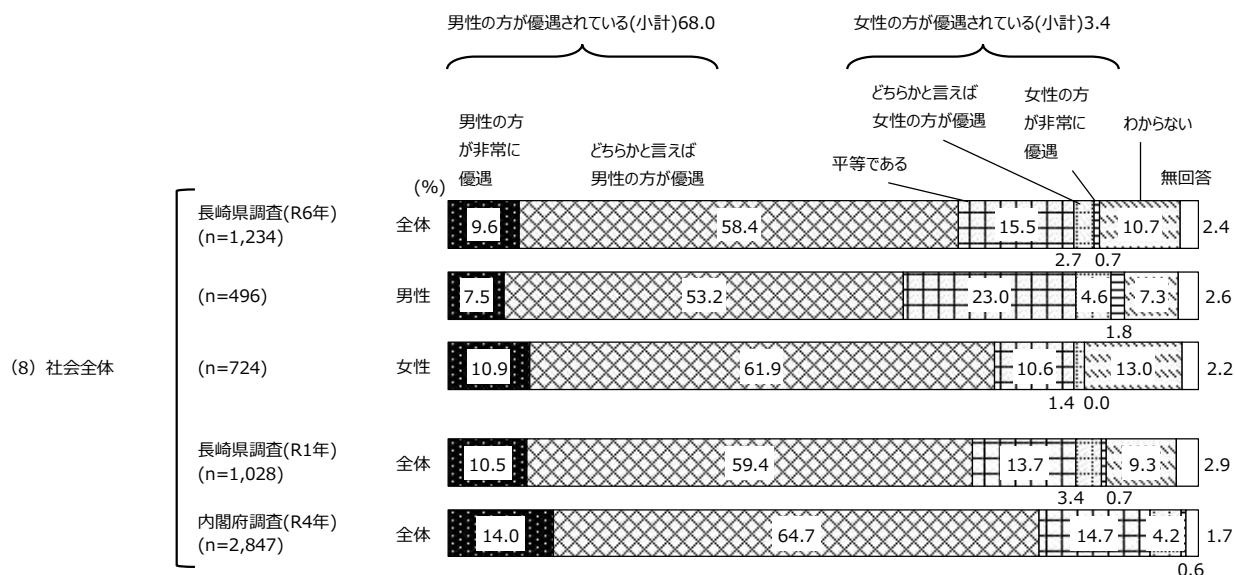


表1-1 各分野の男女の地位の平等感

分野	標本数	男性の方が非常に優遇	どちらかと言えば男性の方が優遇	平等である	どちらかと言えば女性の方が優遇	女性の方が非常に優遇	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
家庭生活	全体 1,234	10.6	43.8	29.2	5.9	1.5	6.9	2.2
	男性 496	6.0	35.3	39.1	10.1	1.6	5.4	2.4
	女性 724	13.7	49.4	22.7	3.0	1.4	7.9	1.9
職場	全体 1,234	8.8	38.7	28.6	5.2	1.4	13.6	3.6
	男性 496	5.2	38.9	33.9	6.7	2.2	9.5	3.6
	女性 724	11.2	39.0	24.9	4.3	0.8	16.4	3.5
学校教育	全体 1,234	1.4	12.0	57.9	1.9	0.9	21.9	4.0
	男性 496	1.6	10.5	61.7	2.8	1.6	17.3	4.4
	女性 724	1.1	13.1	55.7	1.4	0.4	24.7	3.6
地域活動	全体 1,234	5.3	30.6	37.2	5.6	0.3	18.1	3.0
	男性 496	4.0	28.2	45.6	7.7	0.6	11.1	2.8
	女性 724	5.9	32.2	31.8	4.0	0.1	22.9	3.0
法律や制度上	全体 1,234	6.0	33.5	34.0	5.0	1.4	16.9	3.3
	男性 496	3.2	26.8	45.4	6.9	2.8	11.1	3.8
	女性 724	7.9	38.1	26.2	3.7	0.4	20.7	2.9
政治や行政の政策決定の場	全体 1,234	21.0	44.5	17.1	1.1	0.5	13.0	2.8
	男性 496	16.5	42.9	23.8	2.2	1.0	10.5	3.0
	女性 724	24.0	45.7	12.6	0.4	0.1	14.5	2.6
社会通念、慣習・しきたり	全体 1,234	18.2	54.6	12.8	1.6	0.4	9.5	2.9
	男性 496	14.1	52.4	18.3	3.2	0.8	7.7	3.4
	女性 724	20.7	56.2	9.3	0.6	0.1	10.6	2.5
社会全体	全体 1,234	9.6	58.4	15.5	2.7	0.7	10.7	2.4
	男性 496	7.5	53.2	23.0	4.6	1.8	7.3	2.6
	女性 724	10.9	61.9	10.6	1.4	0.0	13.0	2.2

2. 男女共同参画に関連する言葉の認知度

問2 あなたは、次にあげる言葉を知っていますか。（○は1つずつ）

▶「ジェンダー」の言葉の認知度は85.5%

「男女共同参画社会」の認知度は「内容まで知っている」が28.8%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が50.8%となり、合計した認知度は79.6%である。長崎県調査（R1年）の全体的な認知度は78.8%であり、長崎県調査（R6年）では0.8ポイント増加している。認知度の内訳を長崎県調査（R1年）と比較すると、長崎県調査（R6年）では「聞いたことはあるが内容は知らない（53.4→50.8）」が2.6ポイント減少した一方で、「内容まで知っている（25.4→28.8）」は3.4ポイント増加している。

「男女雇用機会均等法」の認知度は「内容まで知っている」が47.8%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が41.4%となり、合計した認知度は89.2%である。長崎県調査（R1年）と比較すると「内容まで知っている（45.3→47.8）」と「聞いたことはあるが内容は知らない（41.2→41.4）」の割合は長崎県調査（R6年）ではどちらもやや増加している。

「育児休業制度・介護休業制度」の認知度は「内容まで知っている」が59.2%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が34.5%となり、認知度は93.7%である。長崎県調査（R1年）と同様、これらの項目の中で認知度が最も高い結果となっている。

「ワーク・ライフ・バランス」の認知度は「内容まで知っている」が30.2%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が36.8%となり、認知度は67.0%である。長崎県調査（R1年）の認知度は55.4%であり、長崎県調査（R6年）では11.6ポイント増加している。

「ジェンダー」の認知度は「内容まで知っている」が53.7%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が31.8%となり、認知度は85.5%である。長崎県調査（R1年）の認知度は53.3%であり、長崎県調査（R6年）では32.2ポイントと大幅に認知度が上昇している。

「ジェンダーギャップ指数」の認知度は「内容まで知っている」が12.0%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が43.4%であり、認知度は55.4%であった。

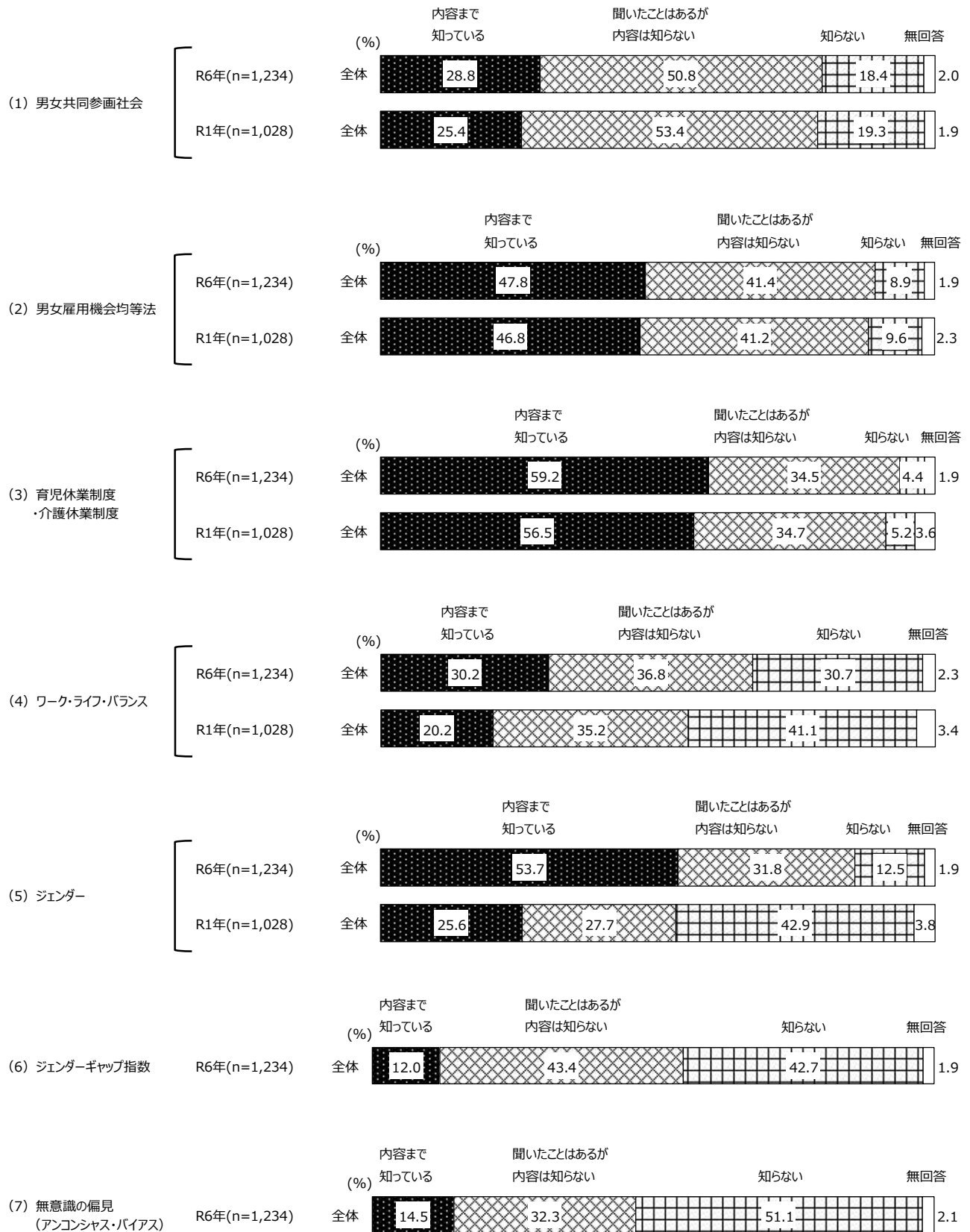
「無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）」の認知度は「内容まで知っている」が14.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が32.3%であり、認知度は46.8%であった。

「長崎県男女共同参画推進センター」の認知度は「内容まで知っている」が9.1%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が42.0%となり、認知度は51.1%と5割に達している。長崎県調査（R1年）の認知度は48.9%であり、長崎県調査（R6年）では2.2ポイント増加している。

「ウーマンズジョブほっとステーション」の認知度は「内容まで知っている」が2.3%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が18.1%となり、認知度は20.4%である。長崎県調査（R1年）の認知度は17.2%であり、長崎県調査（R6年）では3.2ポイント増加している。

これらのことから、法律や制度は8割前後から9割台と認知度が高い一方で、専門用語は認知度が高いものと、5割前後にとどまっているものがあることがうかがえる。

図 1 - 2 男女共同参画社会に関連する言葉の認知度



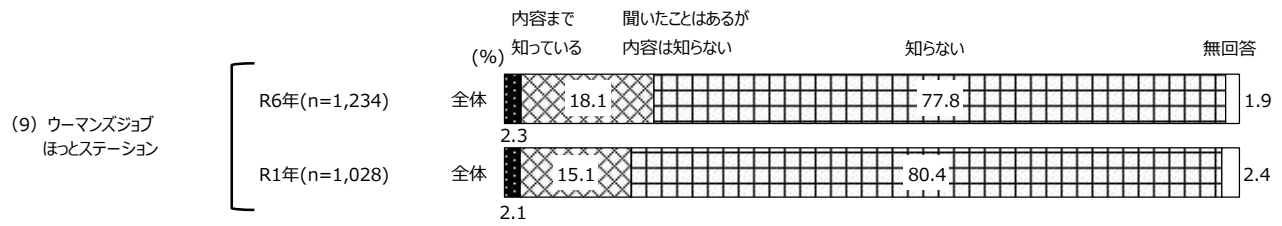
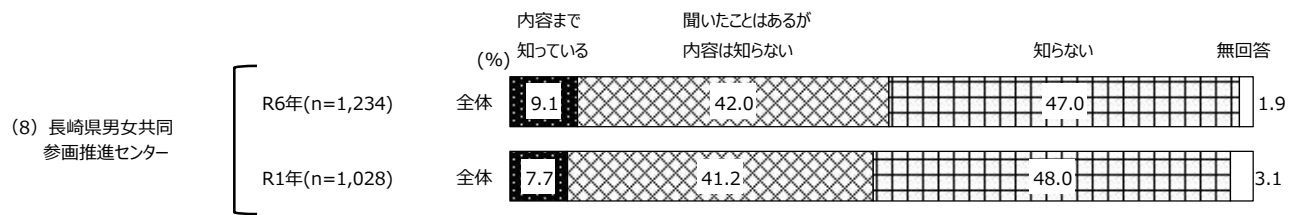


表 1 - 2 男女共同参画社会に関連する言葉の認知度

言葉	標本数	内容まで知っている	聞いたことはあるが 内容は知らない	知らない	無回答
	人	%	%	%	%
男女共同参画社会	全体 1,234	28.8	50.8	18.4	2.0
	男性 496	31.7	48.4	17.5	2.4
	女性 724	27.1	52.6	18.6	1.7
男女雇用機会均等法	全体 1,234	47.8	41.4	8.9	1.9
	男性 496	51.4	37.5	9.1	2.0
	女性 724	45.4	44.1	8.8	1.7
育児休業制度 ・介護休業制度	全体 1,234	59.2	34.5	4.4	1.9
	男性 496	55.2	36.3	5.8	2.6
	女性 724	62.0	33.3	3.3	1.4
ワーク・ライフ・バランス	全体 1,234	30.2	36.8	30.7	2.3
	男性 496	29.6	38.9	28.8	2.6
	女性 724	30.5	35.5	32.0	1.9
ジェンダー	全体 1,234	53.7	31.8	12.5	1.9
	男性 496	46.4	36.7	14.5	2.4
	女性 724	59.1	28.2	11.2	1.5
ジェンダーギャップ指数	全体 1,234	12.0	43.4	42.7	1.9
	男性 496	11.9	44.0	41.9	2.2
	女性 724	12.2	43.1	43.1	1.7
無意識の偏見 (アンコンシャス・バイアス)	全体 1,234	14.5	32.3	51.1	2.1
	男性 496	13.5	33.3	51.0	2.2
	女性 724	15.2	32.0	50.8	1.9
長崎県男女共同参画 推進センター	全体 1,234	9.1	42.0	47.0	1.9
	男性 496	10.5	39.5	47.4	2.6
	女性 724	8.3	44.1	46.3	1.4
ウーマンズジョブ ほっとステーション	全体 1,234	2.3	18.1	77.8	1.9
	男性 496	2.2	18.5	77.0	2.2
	女性 724	2.3	18.0	78.2	1.5